

学校法人村田学園
東京経営短期大学
機関別評価結果

平成22年3月18日
財団法人短期大学基準協会

東京経営短期大学の概要

設置者	学校法人 村田学園
理事長名	亀田 光昭
学長名	亀田 光昭
ALO	佐久間 康
開設年月日	平成4年4月1日
所在地	千葉県市川市二俣625-1

設置学科及び入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
経営総合学科		240
	合計	240

専攻科及び入学定員(募集停止を除く)

なし

通信教育及び入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

東京経営短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 22 年 3 月 18 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 20 年 6 月 24 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

建学の精神・教育の理念は、経営母体である村田学園創立者の「有算者勝」に凝縮されている。現在の経営総合学科の教育目的・目標は、「これからの社会生活に必要な幅広い教養を培うとともに、多様な職業に共通する実践的な知識・技能を身につけさせることにより、地域社会、産業社会に有為な人材を育成」することである。

学科は、医療秘書、生活心理、企業経営、会計税務（一般クラス・特進クラス）の四つコースから成り、共通科目では、基礎学力向上のための教養ゼミナール、コンピュータリテラシー、留学生のための日本語（Ⅰ～Ⅳ）が特徴ある科目となっている。専門科目では、各コースに教育内容を体現している 25 科目前後が配置され、それらの多くは、資格取得に関連している。取得する資格・検定は、全国経理教育協会、日本商工会議所などが行っている簿記関係のものが多く、就職先も事務系・販売系職種が多数を占めている。

学習支援活動は、入学前の計 4 回の課題付与、希望者を対象とする計 5 日間のスクーリングの実施、外国人留学生に対する学園独自の奨学金制度、アシスタントアドバイザー制度、習熟度別の日本語クラス編成の実施など、積極的に取り組んでいる。

教員の研究は堅実で、特に、科学研究費補助金への申請者は毎年 2 名を数え、そのうち三分の二が採択され、外部研究資金の獲得に努力していることがうかがえる。

社会的活動の面でも、エクステンションセンター、「生涯学習・地域貢献委員会」を開設し、エクステンションセンターではオープンカレッジの運営、「さわやかちば県民プラザ」からの受託講座、市川市や船橋市の教育委員会後援事業などを行い、生涯学習・地域貢献委員会では学生のボランティア活動支援に力を入れている。

管理運営は、学長・理事長のリーダーシップ、理事会・教授会の円滑な運営、学内事務組織の整備などにより、一体となって学内改革に取り組んでいる。

財政面でも、収容定員充足率を含め厳しい状況にありながらも、経営改善に取り組んでいる。

自己点検・評価は、役職者だけでなく、学科会議、ファカルティ・ディベロップメ

ント（FD）活動、スタッフ・ディベロップメント（SD）活動を通じて、全教職員がかかわり、定期的に実施され、平成 18 年度以降、毎年自己点検・評価報告書を作成・公表している。外部評価も委員会が設置され、実施されている。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質の保証を図り、加えて短期大学の主体的な改革・改善を支援して、短期大学教育の向上・充実に資することにある。そのために、本協会の評価は、短期大学評価基準に基づく評価、すなわち基準評価的な性格に加え、短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する評価、すなわち達成度評価的な性格を有する。前述の「機関別評価結果」や後述の「領域別評価結果」は短期大学評価基準に従って判定されるが、その判定とは別に、当該短期大学の個性を尊重し、短期大学教育の向上・充実に資する観点から、本協会は以下の見解を持つ。

（1）特に優れた試みと評価できる事項

高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らしたとき、本協会は、当該短期大学の取り組みのうち、以下に示す事項については優れた成果をあげている試みや特に特長的な試みと考える。

評価領域Ⅱ 教育の内容

- 講義概要とともに学生に配布されている学生ハンドブックは、建学の精神、年間の学生生活の流れ、履修方法の説明、資格取得のための説明が分かりやすく明示されている。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- フィットネスルーム、全天候型グラウンド、テニスコート、二つの体育館があり、学生の課外活動、学生のスポーツを通じた生涯教育のための施設が用意され、ハードウェアだけでなくスポーツを活性化するための体制も整っている。

評価領域Ⅴ 学生支援

- 入学前に計 4 回の課題付与及び希望者を対象とする計 5 日間のスクーリング（16 講座）を行っており、さらに希望者にはカリキュラム説明などを行い、入学後の学生生活をスムーズに接続させている。

評価領域Ⅵ 研究

- 科学研究費補助金へ毎年 2 名の申請者がおり、平成 17 年度より、その三分の二が採択されている。

評価領域Ⅹ 改革・改善

- 全教職員が参加する自己点検・評価委員会を組織し、毎年、自己点検・評価報告書を作成・公表している。その報告書に基づき、外部評価を実施している。この外部評価の委員は、地域の商工会議所・企業などの関係者に委嘱している。

（２）向上・充実のための課題

本協会は、以下に示す課題などについて改善がされれば、当該短期大学の教育研究活動などの更なる向上・充実が期待できると考える。なお、本欄の記載事項は、各評価領域（合・否）と連動するものではないことにご留意願いたい。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

- 一部の教職員に兼務による業務負担があるので、改善が望まれる。

評価領域Ⅴ 学生支援

- 多様な学生が入学してくる状況下では、基礎学力不足の学生に対して、教員の個別対応に加えて、より組織的な対応の展開を考えていくことが望まれる。

評価領域Ⅷ 管理運営

- 評議員現員とその定数の規定が私立学校法の規定に抵触する可能性があるので、点検・確認を行い、寄附行為の改正とそれによる選出が望まれる。

評価領域Ⅸ 財務

- 改善されつつあるが、短期大学部門及び学校法人全体の収支バランスにおいて支出超過の年があり、負債もあるので、収容定員未充足の現状の改善を含め、財務体質の改善が望まれる。

（３）早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 領域別評価結果

各評価領域の評価結果(合・否)を下表に示す。また、それ以下に、当該評価領域を合又は否と判定するに至った事由を示す。

評価領域	評価結果
評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域Ⅱ 教育の内容	合
評価領域Ⅲ 教育の実施体制	合
評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域Ⅴ 学生支援	合
評価領域Ⅵ 研究	合
評価領域Ⅶ 社会的活動	合
評価領域Ⅷ 管理運営	合
評価領域Ⅸ 財務	合
評価領域Ⅹ 改革・改善	合

評価領域Ⅰ 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

当該短期大学の経営母体である村田学園創立者の「有算者勝」の考えを教育全体の根本に置いたところの、建学の精神は、「これからの社会生活に必要な幅広い教養を培うとともに、多様な職業に共通する実践的な知識・技能を身につけさせることにより、地域社会、産業社会に有為な人材を育成」することであり、その教育理念は「深く専門の学芸を教授研究し、人間性豊かな教養と創造的能力を涵養するとともに、現代の職業や实际生活に必要な専門的・実践的な知識技能を有する有為な人材を育成すること」とされる。これらの点検活動は、毎年カリキュラム委員会において、また、変更があるような場合には教授会において、実施されている。学生に対しては、入学式、学長講話、学生ハンドブックなどに明示して周知し、教職員に関しては、「東京経営短期大学の概要」を全員に配布し、教職員の全体集会にて確認が行われている。

評価領域Ⅱ 教育の内容

学科の教育目的・教育目標には、学園の精神である「有算者勝」を継承する建学の精神と教育理念が反映され、その教育課程も教育理念に沿って体系的に編成されている。学科は、医療秘書、生活心理、企業経営、会計税務の四つコースを設け、各コースとも約 25 科目を開講し、資格取得の内容とも関連させて充実を図っている。共通科目として、教養ゼミナール、コンピュタリテラシー、留学生のための日本語などを配置し、基礎学力が低下してきている学生のために配慮している。ただし、留学生が多い中でゼミナールの学生数が多めであることに対しては検討が望まれる。

評価領域Ⅲ 教育の実施体制

教員数は短期大学設置基準の規定を充足しており、委員会組織も整備され責任体制も整えられている。教養ゼミナールのための共同研究もなされ、教育に意欲的に取り組む体制も存在する。しかし、学科長、図書館長、エクステンションセンター長を一人で兼務している状況は改善が望まれる。教育施設は、情報教育のための環境が整えられていること、体育教育及び課外活動のために十分な施設があること、日本文化を実践的に学ぶことができる和室が整備されていること、充実した AV コーナーが図書館に設置されていること、障がい者のためのバリアフリーが実現されていることなどから快適な環境が用意されていると判断できる。

評価領域Ⅳ 教育目標の達成度と教育の効果

教育目標の達成に向け、多面的な評価による単位認定、授業満足度評価とその利用などの努力が行われている。比率が高かった休学・退学者への対策についても抑止する方策として長期履修学生制度の活用、保護者も含めた個別面談などが行われ、休学・退学者が減少する成果をあげている。資格取得状況に多少の問題があるものの、全体として教育目標の達成に努力がみられる。

それらによる教育の効果は、ビジネス系の学習を生かしての事務系・販売系職種への就職率の高さとして表れている。就職先や編入先からの卒業生評価情報の収集、卒業生アンケート回収率、同窓会との連携などに課題があるものの、就職状況は良好であり、全体として教育効果はあがっている。

評価領域Ⅴ 学生支援

入学面での学習支援体制は、課題付与や講座開講・カリキュラム説明などにより展開され、入学後はオリエンテーションや個別相談という形で実施され、学習支援体制はおおむね整っている。学生生活支援の体制は学生相談室などが整備され、キャンパス・アメニティにかかわる十分な設備を有するとともに、スクールバス運行などのサービスも展開している。

進路支援は教員組織と事務組織の協力によってなされている。進路相談室・進路資料室が完備され、進路相談、模擬試験、模擬面接などの具体的支援を通じて、就職決定率が 90 パーセントを超え、20 名以上の編入学といった成果をあげている。外国人留学生比率が高い短期大学として、当該短期大学独自の奨学金や、先輩留学生によるアシスタントアドバイザー制度などの支援体制が整っている。

評価領域Ⅵ 研究

教員の研究活動は、個人によって若干の差は存在するが、論文数、著作数、学会発表回数などから、全体として活発であると判断できる。特に、科学研究費補助金への申請は非常に積極的で、毎年 2 名の申請があり、採択者数も多く、継続的に取り組ん

でいる。研究活動活性化のための条件が整備され、研究費、発表機会、機器・備品、図書の整備、研究室、研究日の配慮などがされている。ただ、図書の予算額の半分しか執行されていない年度があった。やむを得ない事情があったとはいえ、今後は、改善を図っていくことが必要である。

評価領域Ⅶ 社会的活動

社会的活動に取り組むための機関として、エクステンションセンター、「生涯学習・地域貢献委員会」を開設し、エクステンションセンターでは、オープンカレッジの運営（各種講座）、受託講座、地域の教育委員会後援事業などに取り組み、生涯学習・地域貢献委員会では、学生のボランティア活動の普及に取り組んでいる。社会人受け入れは、科目等履修生制度、長期履修学生制度の導入や、公開講座の実施などによって推進している。学生ボランティアは、「環境美化ボランティア」、「安全パトロールボランティア」として活動し、表彰されるなど地域でも注目されている。国際交流・協力の点では、留学生の受け入れは積極的であるが、双方向交流という点では課題を残している。教員の国際会議出席、調査は、数は少ないが堅実に実施されている。

評価領域Ⅷ 管理運営

理事長自ら先頭に立って教職員会合を積極的に開催し、経営方針を伝え浸透させ、改善を推進するなどリーダーシップを十分に発揮している。学内で整備されている各種規程に基づいて管理運営がなされている。しかし、寄附行為の規定の一部において、私立学校法との整合性をとるよう改善する必要がある。

職員間・教職員間の連携に問題はなく、学生からの信頼関係についても改善が進められており適正である。

評価領域Ⅸ 財務

日常的な業務は、経理関係規程の整備がなされ、運営されていることから、適切であると判断される。財政状況については、帰属収支差額が平成 18・19 年度のマイナス状態から、平成 20 年度にはプラスに転じている。改善の理由は全部門の節約によるものである。しかし、定員割れの状況にあり財源不足の状態である。このような中、給与の年俸制の導入、定員見直しによる定員減など改善計画に取り組んでいる。

評価領域Ⅹ 改革・改善

学長、学科長、図書館長、各種委員会委員長、事務部長その他の役職者だけでなく、学科会議、FD 活動、SD 活動を通じて、全教職員がかかわり、定期的に、自己点検・評価活動が実施される体制が確立されている。その結果、平成 18 年度以降、毎年自己点検・評価報告書を作成・公表している。その過程では、様々な諸課題が見出され、

即座に対策が検討されるようになっている。また、外部評価が実施され、実施する委員会としては外部評価委員会を設置し、委員は、商工会議所、企業などの関係者に委嘱している。これまで、平成 12・15・20 年度に実施されている。